

卒業生の皆様へ

20代～30代の若い卒業生の皆様におかれましては、その大半の方々が洗礼を受けた(?)大学入試センター試験、通称“センター試験”が、我が千葉大学でも1月17日・18日の両日、受験志願者数4,652人を迎えて西千葉・亥鼻・松戸の3キャンパス及び県立千葉女子高校の4会場で行われました。

今年で20年目を迎えたセンター試験ですが、今年の志願者総数は543,981人で前年比596人増、志願者数ピークの平成15年度の602,887人と比較すると約6万人減となりました。数値には少子化が如実に表われています。

センター試験の母体は1979年から10年間行われていた大学共通一次試験で、“共通一次”という響きに懐かしさを覚える世代の方々もいらっしゃるのではないのでしょうか。

また、共通一次の前は国立一期校・二期校の時代で、我が千葉大学は栄えある一期校でしたね。いくつになってもこの時期になると苦しかったあの頃を思い出してしまいます。今では懐かしい思い出になってしまいました・・・

センター試験は、独立行政法人大学入試センターが実施する日本の大学の共通入学試験で、千葉大学は大学入試センターからセンター試験を請け負っている関係になります。全国に738ある試験場の一部というわけです。

例年、センター試験実施日は「雪の特異日」とも言われ、過去には公共交通機関のダイヤの混乱による開始時間の遅延や雪かき作業の発生など想定外のトラブルが立て続けに起こった年もあるだけに、関係者は天気予報に一喜一憂します。

その他にも試験問題の保管や厳格な実施時間の管理など、全国共通のセンター試験だけに担当する教職員の心労は計り知れません。教職員の一部は大学に泊り込んでセンター試験にあたる者もいるように聞き及んでいます。

今年はお陰さまで天候に恵まれ、その心配は杞憂に終わりました。センター試験を皮切りにいよいよ本格的受験シーズンの到来です。

当日の様子はこちらをご覧ください。  
[http://www.chiba-u.ac.jp/graduate/kizunanews/center\\_pic.pdf](http://www.chiba-u.ac.jp/graduate/kizunanews/center_pic.pdf)